

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2008年2月)  
 ~ 閏年効果で高めの伸び ~

発表日 2008年3月28日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
 担当 副主任エコノミスト 長谷山 則昭  
 TEL : 03-5221-4525

(単位: %)

|    |     | 商業販売額 |      | 卸売業 |      | 小売業  |      | 大型小売店 |            |            | コンビニ販売額    |            |      |
|----|-----|-------|------|-----|------|------|------|-------|------------|------------|------------|------------|------|
|    |     | 前年比   | 前期比  | 前年比 | 前期比  | 前年比  | 前期比  | 前年比   | 百貨店        |            | スーパー       |            |      |
|    |     |       |      |     |      |      |      |       | 既存店<br>前年比 | 既存店<br>前年比 | 既存店<br>前年比 | 既存店<br>前年比 |      |
| 06 | 2月  | 5.7   | ▲1.4 | 7.1 | ▲1.2 | 1.2  | ▲1.6 | ▲1.6  | ▲1.9       | 0.3        | ▲3.3       | 1.2        | ▲2.4 |
|    | 3月  | 3.3   | ▲3.5 | 4.0 | ▲4.7 | 1.1  | ▲0.2 | ▲0.0  | ▲0.3       | 1.8        | ▲1.9       | 0.7        | ▲2.6 |
|    | 4月  | 3.6   | 2.4  | 5.1 | 3.2  | ▲0.9 | ▲0.5 | ▲0.6  | ▲0.9       | ▲0.4       | ▲1.3       | ▲1.8       | ▲5.0 |
|    | 5月  | 6.6   | 1.3  | 8.8 | 1.5  | 0.1  | 0.7  | ▲0.9  | ▲1.6       | ▲1.2       | ▲1.9       | 0.2        | ▲2.9 |
|    | 6月  | 4.4   | 0.2  | 5.7 | 0.2  | 0.2  | ▲0.3 | ▲0.5  | ▲1.2       | ▲1.9       | ▲0.7       | 3.2        | 0.6  |
|    | 7月  | 4.8   | ▲0.9 | 6.4 | ▲0.9 | ▲0.1 | ▲1.2 | ▲1.0  | ▲1.4       | ▲1.4       | ▲1.3       | ▲2.4       | ▲5.2 |
|    | 8月  | 5.6   | 5.0  | 7.0 | 6.4  | 1.0  | 1.3  | 0.6   | 0.1        | ▲0.8       | 0.7        | 0.8        | ▲1.8 |
|    | 9月  | 3.2   | ▲6.5 | 4.0 | ▲8.2 | 0.5  | ▲1.5 | 0.8   | 0.8        | 1.3        | 0.4        | ▲0.8       | ▲3.4 |
|    | 10月 | 6.0   | 5.1  | 7.9 | 6.9  | ▲0.1 | ▲0.3 | ▲1.7  | ▲1.7       | ▲2.0       | ▲1.4       | 2.0        | ▲0.6 |
|    | 11月 | 3.5   | ▲0.8 | 4.7 | ▲1.2 | ▲0.3 | 0.2  | ▲0.8  | ▲0.8       | ▲0.3       | ▲1.2       | 1.1        | ▲1.5 |
|    | 12月 | 2.2   | ▲1.1 | 2.9 | ▲1.4 | ▲0.2 | 0.0  | ▲1.6  | ▲2.4       | ▲2.2       | ▲2.6       | 2.2        | ▲0.2 |
| 07 | 1月  | 2.2   | 0.7  | 3.3 | 1.1  | ▲0.9 | 0.6  | 0.6   | ▲0.5       | 0.0        | ▲0.9       | 1.7        | ▲0.7 |
|    | 2月  | 3.0   | 1.9  | 3.9 | 1.6  | ▲0.2 | 0.7  | 1.5   | 0.5        | 1.5        | ▲0.1       | 1.3        | ▲1.1 |
|    | 3月  | 1.3   | ▲3.0 | 1.9 | ▲4.4 | ▲0.7 | ▲0.7 | ▲0.2  | ▲1.1       | ▲1.5       | ▲0.8       | 0.9        | ▲1.4 |
|    | 4月  | 4.3   | 3.4  | 5.8 | 5.4  | ▲0.7 | 0.3  | ▲0.7  | ▲1.8       | ▲1.4       | ▲2.0       | 1.6        | ▲0.6 |
|    | 5月  | 5.9   | 1.8  | 7.7 | 2.2  | 0.1  | 0.3  | 0.3   | ▲0.8       | ▲0.7       | ▲0.9       | 1.7        | ▲0.6 |
|    | 6月  | 4.1   | ▲0.7 | 5.4 | ▲0.8 | ▲0.4 | ▲0.3 | 1.9   | 0.9        | 5.1        | ▲1.9       | ▲2.0       | ▲4.2 |
|    | 7月  | 4.0   | ▲0.9 | 5.9 | ▲0.6 | ▲2.3 | ▲1.9 | ▲2.5  | ▲3.8       | ▲4.4       | ▲3.4       | 2.1        | ▲0.2 |
|    | 8月  | 3.0   | 0.9  | 3.8 | 0.3  | 0.5  | 3.0  | 1.7   | ▲0.1       | 1.1        | ▲0.8       | 2.1        | ▲0.2 |
|    | 9月  | 1.1   | ▲1.3 | 1.2 | ▲1.9 | 0.5  | ▲0.6 | ▲0.2  | ▲2.0       | ▲2.7       | ▲1.5       | 2.1        | 0.0  |
|    | 10月 | 4.4   | 2.0  | 5.4 | 2.7  | 0.8  | 0.4  | ▲0.1  | ▲1.7       | ▲1.6       | ▲1.8       | 0.9        | ▲1.2 |
|    | 11月 | 4.1   | ▲0.3 | 4.8 | ▲0.4 | 1.6  | 0.1  | 1.9   | 0.4        | 0.8        | 0.1        | 1.7        | ▲0.6 |
|    | 12月 | 2.2   | ▲0.5 | 2.8 | ▲0.3 | 0.2  | ▲0.7 | ▲0.4  | ▲1.5       | ▲2.2       | ▲1.0       | 0.6        | ▲1.3 |
| 08 | 1月  | 3.7   | 0.6  | 4.5 | 0.8  | 1.3  | 0.8  | ▲0.8  | ▲2.0       | ▲2.1       | ▲2.0       | 0.1        | ▲1.6 |
|    | 2月  | 5.5   | ▲0.3 | 6.2 | ▲0.5 | 3.1  | ▲1.0 | 2.7   | 1.3        | 1.0        | 1.5        | 3.4        | ▲0.5 |

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

## ○ 2月の小売業販売額は前年比+3.1%と伸びが拡大

2月の小売業販売額は前年比+3.1%と7ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス(同+2.2%、レンジ: ▲0.2~+4.4%)も上振れた。前年対比では高い伸びとなったが、閏年効果や石油製品価格の上昇による部分が大きいとみられること、前月比では▲1.0%とマイナスになっていることを勘案すれば、2月の財消費はヘッドラインほどには強くない。

なお、1月の確報および2007年分の年間補正が行われた結果、季節調整値でみた1月分が大きく下方修正された。下方修正の主因は季節調整によるテクニカルなものが多いと考えられるが、1-2月平均は10-12月期対比でほぼ横ばい圏内の動きとなった。

## ○ 燃料小売業が大幅に上昇し、閏年効果でその他の業種も概ね堅調

小売業販売額を業種別にみると、大幅に上昇したのが燃料小売業(前年比+14.8%)であり、自動車小売業(前年比+3.2%)、飲食料小売業(同+2.1%)なども前年を上回った。燃料小売業は、石油製品価格が高止まりしていることに加えて、昨年2月との比較では石油製品価格の伸びが拡大したため、販売額が大きく増加した。また、平年よりも気温が低下したため、灯油などの消費量が増加したことも燃料小売業の販売額を押し上げたとみられる。原油価格は現在も高水準で推移しており、燃料小売業は前年を上回る状況が続

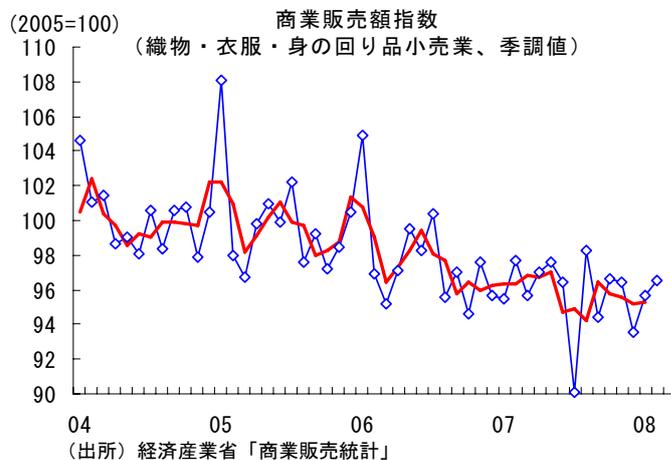
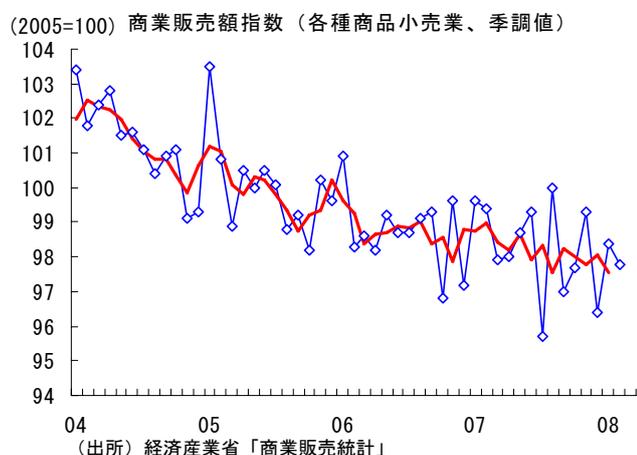
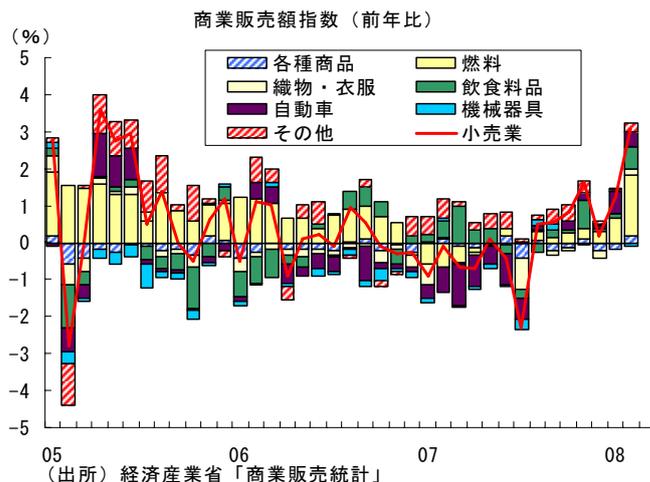
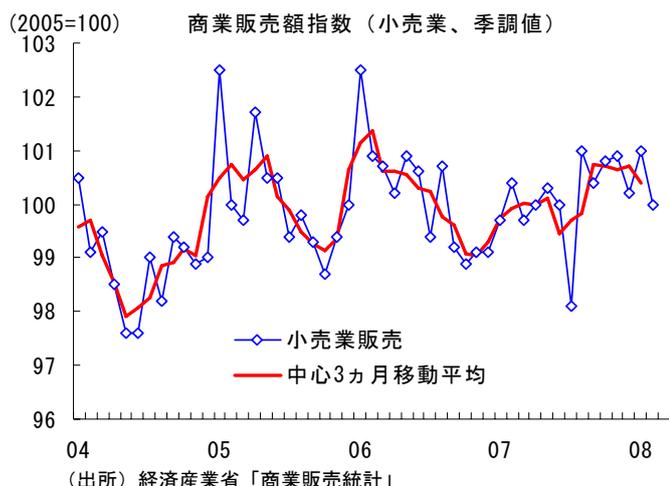
こう。また、自動車小売業も引き続きフィットなどの新車投入効果が持続し高めの伸びとなった。

### ○大型小売店販売額（既存店）は前年比+1.3%と3ヶ月ぶりに増加

大型小売店販売額は前年比+1.3%（既存店）と増加した。内訳は、百貨店が前年比+1.0%、スーパーが同+1.5%である。百貨店は、気温の低下により春物衣料の動きが鈍く、株安の影響などから美術・宝飾・貴金属なども前年を下回った。ただし、2月は閏年だったため営業日が前年よりも約1日多く、食料品などがプラスに寄与し、全体としては3ヶ月ぶりの増加となった。スーパーについても百貨店と同様に春物衣料が落ち込んだが、主力の飲食料品については中国製冷凍餃子問題から冷凍食品は不調だったものの営業日の増加や鍋物商材が良かったことなどから3ヶ月ぶりのプラスとなった。一方、コンビニエンスストアの販売額は前年比▲0.5%（既存店）と気温の低下や前年のキャンペーンの反動により前年を下回った。大型小売店販売額は総じて良好な結果だったが閏年効果による押し上げが大きいと考えられ、トレンドとしては個人消費に力強さがみられない状況に変化はない。

### ○個人消費については下振れリスクが強く、回復感に乏しい状況が続く

個人消費の先行きについては、生活必需品価格の高止まり、雇用・所得環境の改善の足踏み、不安定な株価、大幅に悪化している消費マインドなど不安材料が多く、失速するまでには至らないものの回復感に欠ける展開となることを見込む。1-3月期のGDP個人消費については閏年要因などもあるため堅調に推移する可能性があるが、実態としての個人消費は冴えない状況が続く可能性が高いだろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

